新製品データ ハンドリング
プラットフォーム「RACCOON」を発表

株式会社データ・アプリケーション（本社：東京都中央区、代表取締役社長 橋本
慶太、略称：DAL、JASDAQ：3848）は、システム間のデータ連携、データ移行、システムマイグレーションに必要なデータ変換のプログラムをノンプログラミングで開発きるデータ ハンドリングプラットフォーム「RACCOON（ラクーン）」を開発し、2013年9月
末に提供を開始する予定です。また、2013年5月8日
から東京ビックサイトで開催されるクラウドコンピューティングEXPO春に参考出展します。

企業の販売システム、会計システムなど業務システムにおいては、システム間でのデータ連携に必要なフォーマットや文字コードを変換するプログラムが多数存在しています。その殆どは、個別に開発したプログラムであり、また、最新の設計書が存在しないことが多く、メンテナンスが困難なのが現状です。

今回発表する「RACCOON」は、システム連携におけるフォーマットや文字コードの変換など、データをハンドリングする部分をノンコーディング化し、高速に変換する製品です。
直観的に操作できるマッピングツール「RACCOON Developer
Studio」により、データの入出力フォーマットの定義や項目の対応付けが、ドラッグ＆ドロップで簡単に行うことができます。
また、変換エンジン「RACCOON Transform
Engine」が、データ変換、フォーマット変換、漢字コード変換を高速処理します
さらに、「RACCOON」で作成した変換定義を部品化し再利用することで、属人性を排除し、メンテナンスが難しいといった潜在リスクを回避します。変換定義は仕様書として出力でき、いつも最新の仕様を確認できます。

データ連携、データ移行、システムマイグレーションなどに必要な変換処理を「RACCOON」で標準化すれば、ノンプログラミングでかつ一元的な変換実行・管理が可能になり、開発工数、管理工数を大幅に削減し、生産性を飛躍的に向上します。
GUIには開発者に馴染みのあるEclipse RCP(Rich Client
Platform)を採用しているので、習得のための時間を要しません。

DALは、競争力あるスピード経営をITで実現するために、社内外にかかわらずシステム連携、データ活用のニーズが急速に高まっていることから、短期間で高品質なデータを生成するために、フォーマットや文字コード変換といったデータハンドリングが可能な「RACCOON」を、EAI / BPM / ETL / BI システムを構築する企業、ならびにSI企業へ提案していきます。

◆ RACCOONの機能と特長

1. 各種フォーマットの読み書き / 入出力が多対多（M：N）の変換に対応。
2. レコードのソート / JOIN / グルーピング（分割 / 結合）などの特殊処理にも対応。
3. データベースCSV、固定長/可変長、Excelの他、XMLなど多彩なフォーマット間の相互変換が可能

。
4. 漢字コードやEBCDICなど豊富な文字コードに対応し、最大16000文字の外字登録が可能。
5. COBOLソースプログラム /
COPY句やXMLスキーマをインポートし、入力／出力フォーマットの定義作成が可能。
6. 変換定義を仕様書として出力でき、内部統制対策や容易なメンテナンスを実現。
7. プロジェクト管理やレイアウトの共有、自動マッピングなど開発者を支援する機能を提供。

※「RACCOON」の画面を以下でご覧いただけます。
http://www.dal.co.jp/pressrel/20130416.html

※製品の詳細は以下をご参照ください。
http://www.dal.co.jp/raccoon/

◆ RACCOON製品版発売時期と価格

◇ 販売・出荷開始：2013年9月 末日（予定）
◇ 販売経路：DALのRACCOON販売パートナーを通じて販売

◆「クラウドコンピューティングEXPO春」に出展

http://www.cloud-japan.jp/
会期：2013年5月8日（水） ～10日（金）10:00～18:00
会場：東京ビックサイト東展示棟
小間位置：東14-21

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com